おしえて！気になる!! Q & A スッキリ解決！ 組合員の声

Q 「CO-OP やわらかワンタッチコアノン シングル 130m×6ロール」が以前と比べて紙質が何となく固く感じます。変わりましたか？

A 紙質や製造方法などの仕様変更は行っておりません。

この商品は、再生紙（古紙）100％で、古紙の原料自体には材質のバラつきがあります。トイレットペーパーの品質管理は、坪量（1㎡当たりの原料の量）や破裂強度、水への解けやすさが基準となっており、これをクリアしない商品の出荷は行っておりません。ただ、近年ではリサイクル率が向上し、2回、3回と繰り返し再生された古紙が企業から出るようになったことで、原料となる古紙は紙の繊維が短いものがあり、紙質に若干違いが出てしまうことがあります。おそらく紙質自体は基準値内であったものの、原料に由来する若干のバラつきが発生していたことから“紙質が固くなった”と感じられたものと思います。今後はできるかぎり安定した品質のものをお届けできるよう、品質管理の強化に努めてまいります。

Q 「ずっとおいしい豆腐」は、箱に「常温保存可能品」と書かれているのに、冷蔵でお届けされました。常温で保存しても大丈夫ですか。

A 再度常温に戻しても品質に問題ありません。

「豆腐が冷蔵品になっていない」などの混乱を避けるため冷蔵商品としてお届けしました。この商品を常温から冷蔵にし再度常温に戻した際の品質についても、製造メーカーに確認した結果、問題がないといった見解もございました。しかしながら、今回のように温度帯を冷蔵品にしてお届けしたことでご心配をおかけすることになりました。今後、ロングライフ商品を取り扱う際には、紙面でのご案内の方法をさらに考慮してまいります。

コープいしかわの姿

2023年4月1日～2024年3月31日

	予算	実績	前年
宅配事業供給高（億円）	151.2	142.5	148.1
店舗事業供給高（億円）	40.1	42.5	37.8
経常剰余金（億円）	1.3	1.5	2.3

出資金：71億1,043万円（↓5億2,648万円）
組合員数：165,784人（↓2,635人）
（カッコ内は前月比）

3月度安全確認情報
（2月21日～3月20日 検査結果判明分）

検査名	検査実施数
新商品事前	219品
定例企画商品	283品
残留農薬検査	7品
ヒスタミン検査	1品
アレルギー検査	3品

組合員の環境貢献度（4月度）

商品カタログ回収率 **65.9%**
注文書袋・保冷箱内袋回収率 **23.6%**

理事会だより

2023年度 第11回 4月25日（木）開催

承認及び報告された主な議題は次の通りです。

決まったこと

1.3月度事業・経営報告 承認の件
- 仮設住宅に入居する方へコープ商品が入った調味料セットのお届けを2月29日（木）より能登町、3月15日（金）より珠洲市、3月21日（木）より輪島市で開始しました。
- コープ被災地支援センターでは、能登町での災害ボランティアセンターに、職員の派遣を順次進めました。
- 3月11日（月）から珠洲市の配送を再開し、のと北部エリア2市2町全ての地域で配送再開となりました。また、3月18日週より、珠洲市、輪島市、能登町、穴水町、七尾市、志賀町を対象に、コープ宅配料無料支援を開始しました。
- 息の長い取り組みが望まれる能登半島地震からの復興に向けてコープいしかわの復興の取り組みのシンボルとなる復興ロゴ「負けとられん！能登を笑顔に」を制作しました。

2.2023年度決算（案）と剰余金処分案 承認の件
3.役員人事委員会答申 承認の件
4.役員人事委員会答申などを踏まえた申し送り事項 承認の件
5.第25回通常総代会議案書（第1号議案） 承認の件
6.県外在住組合員の加入 承認の件
7.コープ北陸第28回通常総会代議員の選出及び役員候補推薦の件
8.石川県生協連第59回通常総会代議員の選出及び役員候補推薦の件

報告されたこと

1.福祉事業に関わる規程の改訂について
2.2023年度内部統制振り返りと2024年度の取り組み計画などについて
3.第9次中期計画策定の進め方について

令和6年能登半島地震 コープいしかわが取り組んだこと

コープいしかわは震災で被害に遭われた皆さまが日常の暮らしと笑顔を取り戻すその日まで、寄り添い続けていきます。組合員や全国の生協とともに社会の一員として取り組んだことを報告します。（5月8日記）

どこにいても安心して利用ができるように

組合員を探して仮設住宅を訪問

安否確認や避難先の確認が取れていない組合員の所在確認を進めるため、入居の始まった仮設住宅を訪問しています。また、生活環境が変わりお買い物に不便を感じている方へ、コープの宅配が暮らしのお役に立てるようご案内しています。

「能登復興推進室」ができました

コープいしかわが進める能登半島地震からの暮らしの再建や復興に取り組むため新部署ができました。

マネジャーの荒井 昌亨さんと川岸 蓮さん ▶

CO･OP共済お見舞い訪問

4月1日（月）から再開した、コープ共済連と全国の生協職員によるCO･OP共済契約組合員へのお見舞い訪問活動は、珠洲市、輪島市、能登町、七尾市能登島での訪問活動を4月12日（金）で終えました。671件のお宅を訪問し209件お会いすることができました。今後も住所が不明な方や留守だった方への対応を検討していきます。

トラックに復興支援ロゴ

コープいしかわの復興の取り組みのシンボルとなる復興支援ロゴを配送トラックなどの業務車両に掲示しています。役職員もワッペンを装着しています。

コープのつながりを復興の力に

コープデリ連合会、コープみらいから3名がコープいしかわへ１年間の支援職員派遣

コープデリ連合会、コープみらいでは、コープいしかわ長期支援のための出向者を募集したところ、14名の方が手を挙げてくださったそうです。その中から面接などを通して選ばれた3名の方が、1年間石川県に住み、奥能登地域を配送するのと北部センターで地域担当者として配送を担っていただきます。

◀ 左から
森川 淳さん（コープデリ連合会子会社(株)トラストシップ）、
徳田 和将さん（コープみらい）、
佐々木 健介さん（コープみらい）

コープデリ連合会▽
コープみらいを含む6生協の連合会

コープみらい▽
千葉、埼玉、東京を事業エリアとする生協

4月15日（月）、3名の職員の出向に先立って、日本生協連の土屋会長、嶋田統括専務、コープみらいの熊﨑理事長、永井副理事長、古賀副理事長、駒形理事がコープいしかわを訪問しました。お見舞いのあいさつの後、コープみらいの組合員、役職員からのメッセージが書かれたたくさんの色紙を贈呈いただきました。

色紙には二次元コードが付いていて、コープみらいの総代会議で組合員や役職員がメッセージを書いてくれている動画が見られるようになっています。

地域とともに

能登地域協議会が避難所でお菓子の配布

4月16日（火）、避難所となっている矢田郷地区コミュニティセンター（七尾市）で能登地域協議会がお菓子の詰め合わせを避難している方へ配りました。能登地域協議会では、ボランティア活動を通して行事の開催時にお世話になっているコミュニティセンターのお役に立ちたいと考え、みんなで打ち合わせや買い出しなどの準備をしました。

袋詰め
のとセンターでお菓子の詰め合わせを作る能登地域協議会のみなさん。リクエストのあった和菓子を中心にしました。

配布
お昼ごはんの際に直接お菓子をお渡しでき、喜んでいただけました。

寄贈
地域協議委員が手作りした復興ロゴ看板を目にした避難者の方や職員から「元気が出る」とおっしゃっていただき、看板を寄贈しました。避難所の応援メッセージコーナーに設置していただけることになりました。

能登町災害ボランティアセンター運営支援

全国の生協職員が週替わりで能登町の災害ボランティアセンターの運営支援に入っています。コープいしかわからは常駐職員1名を派遣しています。

継続中 ●野々市市の2次避難所へおにぎりを毎日お届け。おにぎりは米心石川様が製造・納品。●金沢市が給与するみなし仮設用生活用品を「くらしと生協」で調達。●輪島市で避難者向け弁当約2,000食を毎日、各拠点まで納品。●粟津温泉の2次避難所の食事を毎日お届け。昼食はコープこまつ、夕食は小松センターから弁当を配送。●日本生協連の協力を得て、珠洲市、輪島市、能登町、穴水町での仮設住宅入居者へコープの調味料セットをお届け。